

令和3年第12回大仙市教育委員会定例会議事録

令和3年第12回大仙市教育委員会定例会を令和3年12月24日(金)午後3時30分から大仙市役所大曲庁舎3階大会議室において開催した。

出席者

教育長	伊藤雅己
委員	風登森一
	工藤浩一
	中島康
	高見文子
	伊藤勝良

説明員

事務局長	築地高
次長兼教育総務課長	田口広龍
次長兼施設管理課長	讃岐敬司
次長兼教育指導課長	高橋規子
次長兼教育研究所長	山信田浩
次長兼学校給食総合センター所長	佐藤正道
生涯学習課長	大沼利樹
総合図書館長	伊藤ひろみ
総合市民会館長	品川雄喜
花館公民館長	加藤登紀子
神岡中央公民館長	渡邊一光
大綱交流館長	齊藤良子
中仙公民館長	高橋千秋
協和公民館長	阿部成吾
南外公民館長	佐藤マキ
仙北公民館長	竹村智子
太田公民館長	草薨晶子

書記

教育総務課参事	佐藤到
---------	-----

付議案件

なし

伊藤教育長

皆様、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、全員御出席です。書記に、佐藤参事を指名します。

ただいまから、令和3年第12回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

前回定例会の議事録は、ただいま委員の皆様からの署名をもって承認していただきました。

次第の3番、教育長報告に入ります。

年末のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。例年に比べて暖かく、雪の少ない毎日が続いておりほっとしております。小・中学校は、カレンダーの関係で明日から1月13日までが冬休みとなります。新型コロナウイルスの感染症については、まだまだ油断できない状況ですが、子どもたちにとって有意義な冬休みとなることを祈っております。

それでは、資料の1ページを御覧ください。

最初に学校教育関係です。

特色ある教育活動として、中学校の全県の秋季大会について掲載しております。本市の生徒たちの活躍は、来年度の総体につながるものと期待しているところです。また、マーチングの全国大会には、3校が出場しております。コロナ禍で十分に練習できない学校があること等に配慮し、例年のように金銀銅という賞は設けられなかったとのことです。なお、花館小、大曲小は、事前に撮影した動画を上映する形で大会に参加しております。

研修等については、県学習状況調査が12月1日に小学校、12月2日に中学校で実施されております。現在、集計作業に入っており、1月中には県全体の状況が分かるものと思います。また、租税教育に関する研修会が、大曲南中学校を会場に行われております。南中の生徒に対する租税教室を参観後、教育委員会関係者、東北税理士会大曲支部の会員や税に関する行政機関、学校関係者等による情報交換や協議が行われました。

市長部局との連携行事等については、市内3スキー場がオープンします。児童生徒が利用しますので、スキー場開きには教育委員会からも参加する予定です。

児童生徒の安全・安心面では、新型コロナウイルス感染症も含めて、大きな事案は発生しておりません。

その他、市議会の一般質問がありました。教育委員会関係の答弁については、別紙資料No.1を参照ください。また、太田地域における小学校の今後の方向性に関するアンケートを実施しております。これは、昨年度もアンケートを実施し、本年も同様の内容で実施する予定で計画していたことから実施するものです。今回の結果を受けて、教育委員会として太田地域の具体的な小学校の在り方についての検討に入る予定です。

以上で、私からの報告を終わります。

次に、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきます。

まず、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

資料の2ページを御覧ください。教育総務課は3項目記載しておりますが、1項目目の、「太田地域の教育に関するアンケート調査」の実施についてです。昨年度に引き続き、太田地域の保護者の学校統合に関する意向調査のため、アンケート調査を実施したところです。12月13日から17日までを調査期間とし、小学校及び認定こども園の281の保護者世帯を対象に実施しました。現在、集計中でありまして、次回定例会で調査結果を報告させていただきます。

2項目目の、市議会定例会は、無事に終了しております。教育総務課は、以上です。

伊藤教育長

次に、施設管理課長、お願いします。

施設管理課長

施設管理課からは、工事関係についてです。「太田文化プラザ空調設備改修工事」が完成しました。来年度は、風除室の設置、トイレの改修、多目的ホール、これは鈴木空如の展示スペースですが、その内装の改修工事などを予定しております。以上です。

伊藤教育長

次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長

教育指導課からは、6項目挙げております。

1から5項目目については、先ほど教育長から報告があったとおりです。

6項目目ですが、県の業務改善推進計画により、冬季休業中、年末年始休暇以外に平日3日以上の開庁日を設けることが目標として掲げられており、市の校長会と協議して、大仙市の小中学校では12月28日を学校閉庁日として設定いたしました。以上です。

伊藤教育長

次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長

学校給食総合センターは、記載の2項目のとおりです。

2番の、「学校給食センター所長会議」については、来年度の東部学校給食センター統合計画についても話し合ったため、担当者も合わせて10人の出席となっています。以上です。

伊藤教育長

次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長

生涯学習課の行事は、記載の2項目のとおりです。

1番の、美郷町公民館で行われました「大仙・仙北広域圏日本語講座指導者・運営委員合同会議」については、大仙・仙北・美郷2市1町の広域連携で取り組んでいる在住外国人に対しての日本語教室において、日本語指導者と行政担当者との意見交換として開催しております。以上です。

伊藤教育長

次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長

総合図書館では、3項目記載しております。

図書館見学に、2校からお出でいただいております。

12月11日、大曲図書館でクリスマスの「おはなし会」を開催しております。コロナが現在少し落ち着いていることで、27人というたくさんの方から御来場いただき、楽しんでいただいております。以上です。

伊藤教育長

次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長

総合市民会館からは、2項目記載しております。

2番の、「BIGIN コンサートツアー2022」については、来年の2月27日日曜日に開催されます。それに先駆けて、12月4日に先行販売をしております。チケットは、まだ若干余席がありますので、ぜひ御検討、御購入いただきますようよろしくお願い申し上げます。以上です。

伊藤教育長

続いて、花館公民館長、お願いします。

花館公民館長

花館公民館では、5項目記載しております。

4番、「川を渡るぼんでん」について、毎年2月11日に行われていますが、12月22日付の秋田魁新聞の記事にありましたが、来年においても渡し舟による伊豆山神社への奉納はせずに、神事のみ行うことで決定しております。以上

です。

伊藤教育長

残念ながら、今年も実施できないということのようです。
次に、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長

神岡中央公民館からは、4項目記載しております。

4番の、児童クラブでのフライングディスク「体験教室」ですが、こちらは神岡地域のスポーツ推進委員並びに神岡フライングディスク協会の方々の御協力を得ながら開催するものです。以上です。

伊藤教育長

「FD」は、「フライングディスク」の略ということです。
次に、大綱交流館長、お願いします。

大綱交流館長

大綱交流館は、2項目記載しております。

1番の、「刈和野大綱引保存会役員会」において、今年度も新型コロナウイルス感染症の予防のため2月10日日本番の綱引きは中止となり、2月15日に、関係者による神事及び小中学生による綱引き体験を計画しております。以上です。

伊藤教育長

こちらも、伝統行事が予定どおり実施できないということのようです。
次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長

中仙公民館からは、4項目記載しております。

1番の、「中仙地域学校協働活動担当者会議」ですが、地域内の小中学校の担当の先生と、生涯学習課の沢屋統括推進員に出席していただき、これまでの活動状況や来年度に向けた取組について意見交換をしております。以上です。

伊藤教育長

学校協働活動については、次回以降に来年度に向けた予定等を教育委員の皆様にもお伝えしたいと思います。よろしくお願いします。
次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館長

協和公民館は、9項目記載しております。

8番の、「自衛隊コンサート」ですが、延期した上で12月11日の開催を中止いたしました。以上です。

伊藤教育長

次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長

南外公民館は、5項目挙げております。

2番、「南外小唄まつり実行委員会」と、3番、「南外地域女性の集い実行委員会」は、事業開催の可否について会議を行ったもので、どちらも中止を決定しております。両事業とも2月に開催を予定しており、今後感染症が増加する時期を迎える中での対策の難しさや、高齢者の参加が多く、3回目のワクチン接種時期と重なることなどから中止を決定しております。以上です。

伊藤教育長

次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長

仙北公民館は、7項目挙げております。

2番の、「サタデーキッズパーク」は、11月から再開し、クリスマスに向けたイベントがあったため、少しずつではありますが、にぎわいが戻ってきております。以上です。

伊藤教育長

最後に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長

太田公民館からは、5項目挙げております。

3番の、「料理講座」ですが、お正月に向けた料理として、赤飯や伊達巻づくりを行っております。16人の参加をいただきました。以上です。

伊藤教育長

やはりコロナの影響で、まだまだ中止等があるようです。

以上、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきました。

ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

工藤委員

学校閉庁日というのは、年間に3日間でしたでしょうか。

教育指導課長

長期休暇の中に閉庁日を設けることが目標となっており、夏季休暇中は5日間、冬季については、年末年始休暇を除く平日3日以上が目標となっています。

工藤委員

その上で、28日の一日を閉庁日とするものですか。

教育指導課長

市の校長会と協議しましたが、特に中学校においては受験の準備期に入ってきており、実力テストや面接の練習などが冬休み中に設定されているため、閉庁日を設けることが学校として難しいという状況でした。そのため、今年度においては、とりあえず一日だけ閉庁日を設定しようということになりました。

伊藤教育長

補足説明をしますと、県からは令和5年度までの計画ということで、令和5年度に実施する目標が3日間というものになります。また、中学校では前期選抜があるため年末から準備に入っており、お正月が準備期間に含まれるので、これ以上閉庁日を設けるのは無理な現状です。ただ、来年度からは前期選抜がなくなりますので、おそらく3日か、それに近い日数を設け、令和4、5年度と進んでいけるのではないかと思います。

工藤委員

例えば小学校など、3日間設けている学校もあるということですか。

教育指導課長

大仙市内では統一しました。近隣の仙北市、美郷町教育委員会にも問い合わせましたが、3日間設定しているところはありませんでした。

伊藤教育長

全市一斉閉庁日を、今年度は一日設けたということです。いずれ、閉庁日に関してのみならず、学校の働き方改革や業務改善については、現在大きな課題としてありますので、学校と協議しながら良い方向へと進めてまいります。

ほかには、よろしいでしょうか。

各委員（なし）

伊藤教育長

それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。

今回は付議案件がございませんので、次第の4番、その他に入ります。

大仙市学校教育情報化推進計画について、教育研究所から御報告いたします。教育研究所長、お願いします。

教育研究所長

各学校で取り組んでいるG I G Aスクール推進事業について、大仙市としての推進計画案を作成しましたので、御報告いたします。

委員の皆様には、事前に案をお届けし、目を通していただいておりますが、若干の文言等の変更等があったため、今日新たにお配りしたものです。

この計画は、学校と教育委員会が一つとなり、学校の事業や事務等におけるICT機器の整備や活用を進め、大仙市の教育目標を、ICTを通して目指すものとして策定したものです。

学校教育の情報化が速いスピードで進んでいることを勘案し、計画の期間は、3年という短い期間を設定しました。短いスパンで評価・改善を図ってまいりたいと考えております。

資料の6ページ、第3章では、本市の目指す方向性をお示ししております。

また、7ページからの第4章には施策がありますが、4つの施策を柱として推進してまいります。

資料の14ページですが、教育CSIRT（シーサート）の体制図につきましては、専門用語等を省略している感がありましたので、18ページの用語例に付け加えております。この部分が、主に変更となった部分です。

本計画について、委員の皆様から御意見を頂戴し、よりいい形のものにしていきたいと考えておりますので、よろしく御願いいたします。以上です。

伊藤教育長

内容もボリュームもある資料ですので、読んでいただくのは大変だったと思いますが、せっきくの機会ですので、御質問等をいただければと思います。

先ほどCSIRTの部分について説明がありましたが、これだけでは答えがなかなか見えませんので、これを元に具体化して動けるようにしていくということになりますし、最後のところに情報活用能力の系統表もありますが、非常に内容が盛だくさんになっていますので、実際にこれを学校で使うにはどうしなければいけないのか、という課題も今後解決していかなければいけないと考えております。この計画が大元となって具体化されていくという位置付けになります。

何か、御意見、御質問等ございませんでしょうか。

風登委員

結構なボリュームの計画案で、大変御難儀されたかと思えます。研究所長をはじめ、関わっている方々に敬意を表したいと思えます。

今回、この案をじっくり拝見しました。全く個人の意見ですが、ちょっと気になった点が3点と、要望を1点申し上げたいと思います。

気になった点の1点目、第2章について目次を見てお話ししますが、これは市の計画ですので、「1 社会の動向」、「2 GIGAスクールとは」、「3 情報化に関わる国の主な動向等」という項目は、むしろ資料の方に持って行った方がいいのではないかと感じました。また、取組状況と現時点での課題というものをきちんと示しておかないと、3章、4章へうまくつながっていかないような気がしました。ですので、第2章のところは、全く私個人の意見ですが、算用数字の4のところを「取組状況と課題」とし、第2章のタイトルは、「本市の学校教育の情報化に関わる現状と課題」とすると3章、4章につながるのではないかと思います。それが1点目です。

2点目は、3章と4章に関わりますが、先ほど述べたように2章を変えたのであれば、「目指す方向性」と「具体的な姿」というのはおそらく基本方針という言葉になると思いますが、施策及び取組をセットで示す方が、この推進計画を見て理解しなければならない側にとっては親切だと思いました。そういった構成の見直しをすればいいのではないのでしょうか。つまり、本市の現状と課題を述べ、課題解決に向けた基本方針を示し、そして、施策及び具体的取組を示す、という流れの方がすんなりと受け入れてもらえるのではないかと思います。

3点目ですが、第5章と第6章、「環境整備」、「情報セキュリティ」については、章立てとする項目ではないのではないかと、思いました。つまり、本市の取組の状況のところ、例えば、「学校のICT機器等の環境整備について」、「教員のICT活用指導力について」、「児童生徒のICT活用状況について」などを取り上げ、また、働き方改革のためにICT機器をどんどん使おうというのであれば、「校務の情報化」についても触れるべきであるし、「情報セキュリティ」についても、ここに組み込めば課題をはっきり示すことができます。今後こういう風に取り組んでいきたいと思います」と示す方が、流れとしていいと思いました。

最後の要望の一つは、この計画は、先生方には当然配布されると思いますが、ダイジェスト版といいますか、5つの部分を1枚ものでも1枚の裏表でもいいですので作成すれば、かなり浸透するのではないかと思います。以上です。

教育研究所長

ありがとうございました。なにぶん、一からの作成で、他の自治体の事例等を参考にしながら作ったところもあり、実際問題、少し担当が分かれて合作としたところもありましたので、いただいた御意見を参考にさせていただきたいと思います。

風登委員

分業して合作となるのは当然だと思います。少々流れを考えてもらえればいいのかと思います。

伊藤教育長

ありがとうございます。現場に浸透しなければ意味がありませんので、現場の教員の立場に立ち、もう一度見直したいと思います。

ほかにはございませんか。

伊藤委員

第4章の施策について、思ったことをお話しいたします。

施策1で、推進委員会は、中学校であれば科目ごとにグループ化されるのですが、科目を跨ぎ共通でできることもあるかと思うので、分かれ過ぎるものかどうかと思います。実際は分かれています、会議などを行う際は、何教科かまとまる形になっていけば良いかと思います。共有化の観点から、教科を跨いだ仕組みで行ってはどうかと思いました。

(2)では目標を掲げており、令和5年度に100%となっています。そうするとやはり日常的に使うということで、それが施策の3につながってくるものと思っています。日常的に持ち歩く中での、学校に忘れてしまった場合などに備え、代替機などを検討しておいた方がよいと思いました。

デジタルドリルの導入について、紙のテストでは考えた過程が見えますが、デジタルドリルではそれができるか分かりませんが、答えだけではどのように考えたかを汲み取る余地がなくなってしまうので、答えの過程が分かるものがあれば、そういうものを選んだ方がよいかと思います。

あとは、いろいろシステム化した方がよいところは、予算の都合もあると思いますが、大仙市の30校が共通で、クラウドでのシステム化を目指している、という形にしていただければよいと思います。以上です。

教育研究所長

ありがとうございます。推進委員会の部局につきましては、できれば今年度の2月、3月のうちに一度でも会合をもちたいと考えており、小学校の部局をどのように設けるかを検討しなければならない中で、確かに中学校と一緒にいう部分もたくさんありますので、参考にさせていただきたいと思います。

代替機については現在、学校に2台ありますが、実際の日常的な持ち帰りは、来年の夏以降辺りを計画しております。その時期に向けて課題に取り組んでまいりたいと思います。ありがとうございました。

伊藤教育長

会議も極力オンライン会議で実施するようにしておりますので、御承知おき願います。ほかには、いかがでしょうか。

風登委員

資料の15ページですが、大仙市の大綱がこの内容だけのように見えますので、一部抜粋とした方が良いと思います。

伊藤教育長

御丁寧に見ていただきありがとうございます。このあと反映させていきたいと思えます。今、学校からも一旦、案を見ていただいていますし、こちらももう一度見直しをした上で最終版を完成させたいと思っております。

それでは、このことについてはよろしいでしょうか。

各委員（異議なし）

伊藤教育長

では、その他、この機会に委員の皆様から何かございませんでしょうか。

工藤委員

公民館長の皆さんにお聞きします。今年度、様々な事業が中止になったと思えます。今回も、大きなものでは花館公民館の「川を渡るぼんでん」、「刈和野の大綱引き」も中止となっているようです。コロナが落ち着いている現状の中で、今後感染者が増えるだろうという想定で中止とされているのか、若しくはこのタイミングで何かあってはいけないという思いで中止とされているのか、実行委員会等の雰囲気を見せていただければと思えます。

伊藤教育長

では、花館公民館長、大綱交流館長、お願いします。

花館公民館長

12月21日に川を渡るぼんでん実行委員会を開催した際は、このぼんでんでは、お酒が入り、唄を歌い、声を上げたりして飛沫が飛ぶ恐れがあること、渡り舟に乗ることで密になること、観光客の方が県内外から集まることなどから、そういった危険を避けるため、また、オミクロン株の脅威もありますので、現在と今後の状況を考え、宮司さんから提案していただき神事のみ行うこととなりました。

伊藤教育長

大綱交流館長、いかがですか。

大綱交流館長

「刈和野の大綱引き」につきましては、綱を引く者と観光客で約7,000人

が集まります。感染症予防が非常に難しいこと、「建元」がマスクをして掛け声をするのが難儀であることなど、人数制限やマスク着用などの対策をした場合、綱引きに関する様々な催しが実施困難であることから、今年度も諦めざるを得ないということになりました。今後どのように開催すべきか、という話も出しましたが、まだ結論まで至っておりません。

工藤委員

ありがとうございます。従来のまま実施するのはかなり難しいのだなと思いました。ちなみに、皆さんにお伺いしたいのですが、他の公民館事業もコロナでいろいろ中止になっていると思いますが、実際どれぐらい実施できているでしょうか。今年度は5割できているでしょうか。

伊藤教育長

挙手してもらった方が早そうですね。

半分できなかったという館長さん、いかがですか。

各公民館長（挙手なし）

伊藤教育長

では、半分以上はできたという方はいかがですか。

各公民館長（約半数挙手）

伊藤教育長

悩まれている館長さんがいらっしゃるようですね。

工藤委員

今までと同じやり方ではなく、今後は状況に合った実施方法を考えなければいけないのではないのでしょうか。一度中止になってしまうと再開が難しく、事業が続いていかないのではないかと心配しました。

伊藤教育長

伝統行事については、教育委員会側から口を出すのはなかなか難しいと思いますが、各公民館の事業については、横の連携も深め、情報交換しながら来年度に向けて計画していただければと思いますので、よろしくお願いします。

ほかにはございませんでしょうか。

高見委員

来年度に向けてのことですが、新聞などで、PTAの会員が減っていると、

P T A活動は本当に意味があるのかななどの記事を最近目にするようになったのですが、大仙市の場合はどんな風になっているのかと思ひまして、これから来年度の準備に入ると思ひますが、やはり都会の方と同じようにという語弊があるかと思ひますが、P T A活動について縮小した方がいいという声が多いのか、若しくはそういう風にはなっていないのか、困っている声も聞こえているかと思ひまして、状況がわかりましたら教えてください。

伊藤教育長

教育指導課長、事務局長は、何か情報ありますか。

教育指導課長

ちょうど新聞記事になった頃に、新聞社から問合せが来たことはありましたが、こちらで各校の詳しい情報をしっかりと把握しきれておりません。毎年度、各校が行っている学校評価の集大成のようなものが届きますが、その中でP T A活動について触れている学校も結構ありますので、その部分を今年度しっかりと見ていきたいと思ひております。

伊藤教育長

そもそもP T Aの全体会が開けないとか、そもそも授業参観をどうするか、一斉に実施するのか学年で分けるのかなど、そういった授業参観や全体会について根本的に検討する声もありました。今、コロナ禍で、根本の部分から難しくなっていると捉えていますので、このあと、教育指導課長からありましたように、学校あるいは市のP T A連合会もありますので、情報を収集してまいりたいと思ひます。

ほかにはよろしいでしょうか。

各委員（なし）

伊藤教育長

それでは、教育総務課長から次回の日程についてお願いします。

教育総務課長

次回の定例会は、1月26日水曜日、午後3時30分から、こちらの大会議室で開催したいと考えております。

それから、お手元に通知をお届けしておりますが、大仙仙北美郷教育委員会連絡会を、1月31日午後2時20分から大綱交流館で開催する予定です。御都合が良ければ、是非御参加いただきたいと思ひます。どうしても御都合が悪い場合は、後ほど担当まで御連絡をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

伊藤教育長

今回は、新年1月26日水曜日、午後3時30分から、ここ大会議室での開催として提案いたします。皆様、御都合はよろしいでしょうか。

各委員（異議なし）

伊藤教育長

併せて1月31日につきましてもよろしくお願ひいたします。大綱交流館長には、当日御難儀をかけますが、どうかよろしくお願ひいたします。

では、次回定例会は、そのように予定いたします。

このあと教育委員による協議会をもちますので、教育委員の皆様、関係職員については、御出席をお願いします。

それでは、これをもちまして、定例会を閉じたいと思います。

本日はありがとうございました。お疲れ様でした。